



この教材は、平成 28 年度子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成を受け、NPO 教育支援協会北海道が放課後指導者育成のための教材として開発したものです。  
この教材およびデータを、非営利目的の青少年教育活動で使用する場合には、NPO 教育支援協会北海道までご連絡ください。

Lesson4-4

所要時間の目安： 10分～20分

## 絵と文字のマッチングゲーム

中学年～高学年向け

### ●このアクティビティの目的

絵を見て文字カードと一致させることができる。

### ●使用する教材・教具

- コンビネーションフォニックスの文字カードと絵カードのセット

### ●指導のしかた

※T=先生 Ss=子どもたち

(1) Ssは3～4人のチームを作り、それぞれのチームに絵と文字のセットのカードを6～8種類渡します。

(2) 絵だけのカードを置く場所と文字だけのカードを置く場所を作り、それぞれにカードを裏返しにして置きます。

※少ない人数で行う場合は、カードのセット数を少なくして、絵カードと文字カードを混ぜた状態で行うのも楽しいです。

(3) あとは神経衰弱の要領でゲームを行います。

※カードをめくったときには必ず物の名称を発話するようにします。

カードが全部無くなったときに一番多くセットを持っている人の勝ちです。

カードの種類を変えて時間になるまで何度も行いましょう。トータルで一番多くのセットを獲得した人がチャンピオン！

### ●このアクティビティができるタイミング

カードの単語が読めて絵とリンクできるようになってから行います。

### ●指導のポイント・留意点

たくさんの種類のカードを時間をかけてマッチングするのではなく、少ない種類で早くマッチできるようにし、何度も繰り返し行う方が効果的です。

時間設定に合わせてマッチする種類を加減しましょう。